

# 栄花物語・大鏡の研究

山中裕 著

▶A5判・400頁／定価7,560円（税5%込） ISBN978-4-7842-1640-6

2012年7月刊行予定

『栄花物語』は非常に複雑な本質を有するものである。六国史・新国史および『源氏物語』の後に生まれたものとして、その影響を多分に受けていると同時に、その内容も非常に多くの要素を含んでいる。しかし、従来『栄花物語』はとくに国文学の分野でとりあげられ、歴史学の方面からの研究は少ない状態である。本書は『栄花物語』に内包される歴史書としての特徴を考究し、かつ『大鏡』の歴史的意義についても論究。従来からの歴史物語という分野に収まりきれない可能性を提示する。

## ※内容目次※

序章 『栄花物語』概観

第一章 世継および世継物語

第二章 『栄花物語』の編集

第三章 『栄花物語』の歴史と文学

『栄花物語』の説話性

『栄花物語』の本質—巻六かゞやく藤壺を主として  
平安時代の結婚制度—『栄花物語』を中心として

第四章 『栄花物語』と王朝政治

村上天皇親政と九条家発展の真相

『栄花物語』と摂関政治—特に後宮を中心として  
『栄花物語』と中関白家／『栄花物語』と藤原道長

第五章 『大鏡』の歴史的意義

『大鏡』の歴史観と批評精神  
『大鏡』と藤原道長

第六章 『栄華物語』の歴史叙述

—年記表現の方法—

歴史叙述の方法  
原史料との問題

第七章 『栄花物語』にみる藤原道長の周辺

藤原道長と倫子  
敦康親王と『栄花物語』

書評 福長進著『歴史物語の創造』

関係系図・参考文献

やまなか・ゆたか……1921年東京生まれ。1943年東京大学文学部国史学科卒業。文学博士。東京大学史料編纂所教授・関東学院大学教授・調布学園女子短期大学教授等を歴任。主な著書に日本古典文学全集『栄花物語』上・下（小学館、1996～1997年）『源氏物語の史的研究』（思文閣出版、1997年）『藤原道長』（人物叢書、吉川弘文館、2008年）など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	栄花物語・大鏡の研究	本体7,200円（税別）	ISBN978-4-7842-1640-6	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを最寄りの書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代引（書籍代＋送料を現品と引き替えにお支払い下さい）				
					書店番印

## 歴史のなかの源氏物語

山中裕編 シリーズ古典再生③

『源氏物語』のなかに、この時代の世相が、どのように反映しているか。撰閣時代の文化のあり方、女流日記と女房文学の本質、とくに藤原道長の存在と紫式部との関係に重点を置いた編者渾身の『源氏物語』論を第一部とし、第二部以降では、准拠論、節会の本質と意義、年中行事・通過儀礼の宴と儀式の本質など、一五人の気鋭が、歴史のなかの源氏物語について最新の研究成果を展開する。

【執筆者】山中裕・藤本勝義・佐藤信一・松野彩・松岡智之・木村由美子・塚原明弘・吉田幹生・大津透・近藤好和・武井紀子・磐下徹・川村佐和・池田尚隆・飯沼清子・中村康夫

▶46判・310頁／定価2,310円



ISBN978-4-7842-1423-5

## 日本の心と源氏物語

岡野弘彦編 シリーズ古典再生②

古事記や万葉集に現れる神話時代の男女の姿のなかに、神を育て、神に添って、神の意志を普遍化するという女性特有の聖なる力が見いだせる。それこそが、『源氏物語』の男女の恋にも続く、日本人の心の基層である——編者が、師である折口信夫が体系化できずに終わった「いろいろのみの道徳」論に向きあい、『源氏物語』に流れる日本の心を読み解く。

【執筆者】岡野弘彦・須賀由紀子・松田義幸・江藤裕之・犬塚潤一郎

▶46判・246頁／定価1,890円



ISBN978-4-7842-1412-9

## 一千年目の源氏物語

伊井春樹編 シリーズ古典再生①

一千年もの深く広大な叡智を内包する『源氏物語』。今なお時を経ながら多様な新たな文化を創出し、人の生き方にも大きな影響を与え続けている。たんなる古典復興ではなく、それらの作品を現代の眼でもう一度見直して再生することを目指して開催された2つのシンポジウムをもとにし、斯界の識者による「源氏物語論」を集約。

【執筆者】大岡信・岡野弘彦・丸谷才一・加賀美幸子・山折哲雄・中井和子・川本重雄・伊井春樹

▶46判・252頁／定価1,680円



ISBN978-4-7842-1408-2

## 源氏物語 千年のかがやき

国文学研究資料館編

当館蔵『源氏物語団扇画帖』全帖をカラーで、あわせて図様が近似する他の源氏絵についても多数掲載。描く・書き写す・鑑賞するという3つの観点から、源氏物語がどのように享受されてきたのかで紹介。

▶A4判・168頁／定価1,995円

ISBN978-4-7842-1437-2

## 撰閣時代文化史研究

関口力著

思文閣史学叢書

藤原道長の時代を中心として、リアルタイムに日々の出来事が記される古記録・日記類をもとに、撰閣時代全盛期に生きた人物、および彼らをはぐくんできた社会について考察。

▶A5判・488頁／定価9,450円

ISBN978-4-7842-1344-3

## 兵範記人名索引

兵範記輪読会編

(増補)史料大成本を底本とし、男子の部と女子の部の2部構成よりなり、人名項目のもとに掲出年月日と原文表記を掲げ、原本の情報を盛り込んだ、古代・中世史研究者必携の一書。

▶A5判・484頁／定価9,450円

ISBN978-4-7842-1358-0

## 『狭衣物語』享受史論究

川崎佐知子著

平安朝後期物語の傑作『狭衣物語』の受容の様相を文学的見地から徹底的に分析検証し、連歌師紹巴が天正18年に著した『狭衣下紐』を享受史の中核に位置づけた。物語文学研究の新スタンダード。

▶A5判・640頁／定価12,600円

ISBN978-4-7842-1486-0

## 『親信卿記』の研究

佐藤宗諄先生退官記念論文集刊行会編

蔵人の年中行事に関わる一級史料『親信卿記』から四方邦・供立春水など80項目余の記事を抽出・分離し、他本との校訂や内容の研究にとりくんだ一書。関係補論6篇のほか古代史の個別論考4篇も収録。

▶A5判・600頁／定価10,290円

ISBN4-7842-1252-3

## ※禁裏・公家文庫研究 第一～四輯

田島公編

勅封で全容が不明であった東山御文庫本を中心に、近世の禁裏文庫所蔵の写本、公家の諸文庫収蔵本に関する論考・史料紹介などを収載。

▶(一・二各)B5判・390頁／定価10,290円

(三) B5判・496頁／定価12,390円 (四) B5判・404頁／定価9,660円

## ※平安時代の古記録と貴族文化

山中裕著

思文閣史学叢書

本書は、古記録・儀式書・かなの日記・歴史物語等の根本資料を基に、撰閣政治の本質及び年中行事を主とする平安貴族文化の実態を説かんとするものである。

▶A5判・510頁／定価9,240円

ISBN4-7842-0857-7

## 源氏物語の史的研究

山中裕著

思文閣史学叢書

紫式部の生涯と後宮／源氏物語と時代背景／源氏物語の内容と時代性／源氏物語の準拠と史実、の4篇と付篇からなり、特に第3・4篇は、撰閣制・年中行事・準拠と史実などの面から論じる。

▶A5判・470頁／定価9,660円

ISBN4-7842-0941-7

## ※古記録と日記〔上・下〕

山中裕編

従来は古記録を歴史学、“かな”の日記を国文学の分野で扱ってきたが、本書においては日記という大きな見地から、平安朝の古記録と日記文学の本質を明らかにすることを主眼とする。挿入図版60余点。

▶A5判・(上)252頁(下)266頁／各定価3,045円 ISBN4-7842-0752-X

ISBN4-7842-0753-8

## 今昔物語集の人々 平安京篇

中村修也著

虚実ないまぜ話柄の豊富な説話文学の古典から平安京という都市で生きる人々——商人・検非違使・怪盗・陰陽師・絵師たち——のさまざまな姿を活写。

▶A5判・220頁／定価2,415円

ISBN4-7842-1213-2